

「使用上の注意」改訂のお知らせ

抗血小板剤
アスピリン腸溶錠

アスピリン腸溶錠 100mg 「日医工」

解熱鎮痛消炎剤・川崎病用剤
日本薬局方 アスピリン

アスピリン 「日医工」

製造販売元 日医工株式会社
富山市総曲輪1丁目6番21

この度、上記製品の添付文書において、「使用上の注意」の一部を改訂（下線部）しましたので、お知らせ申し上げます。

なお、改訂添付文書を封入した製品がお手元に届くまで若干の日数を必要といたしますので、今後の弊社製品のご使用に際しましては、下記内容をご高覧くださいようお願い申し上げます。

<改訂内容>（ ：自主改訂）

改訂後			改訂前		
3. 相互作用			3. 相互作用		
併用注意（併用に注意すること）			併用注意（併用に注意すること）		
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
省略（変更なし）			省略		
イブプロフェン ナプロキセン ピロキシカム <u>スルピリン</u>	本剤の血小板凝集抑制作用を減弱するとの報告がある。	血小板のシクロオキシゲナーゼ-1（COX-1）と本剤の結合を阻害するためと考えられる。	イブプロフェン ナプロキセン ピロキシカム	本剤の血小板凝集抑制作用を減弱するとの報告がある。	血小板のシクロオキシゲナーゼ-1（COX-1）と本剤の結合を阻害するためと考えられる。
省略（変更なし）			省略		

<改訂理由>

- アスピリン製剤の海外における添付文書に、メタミゾール（スルピリン）との併用によりアスピリンの血小板凝集抑制作用が減弱するとの記載があり、また、他社の企業中核データシート（CCDS）*が改訂されたことから、弊社製剤の添付文書においても、併用注意の項を改訂しました。

*：企業中核データシート（CCDS：Company Core Data Sheet）

医薬品市販承認取得者（MAH：Marketing Authorization Holder）によって作成される製品情報文書で、安全性情報に加えて、効能・効果、用法・用量、薬理学および製品に関するその他の情報が含まれています。

<変更ロット・流通予定時期>

変更ロット・流通予定時期については、現段階では未定です。当面の間、新・旧が混在し、ご迷惑をおかけすることと存じますが、何卒ご了承くださいようお願い申し上げます。

今回の【使用上の注意】の改訂内容につきましては、日本製薬団体連合会発行の「DRUG SAFETY UPDATE (DSU) 医薬品安全対策情報 No.291」(2020年8月発行)に掲載の予定です。
また、改訂後の添付文書は医薬品医療機器総合機構ホームページ (<http://www.pmda.go.jp/>) ならびに弊社ホームページ「医療関係者の皆さまへ」 (<https://www.nichiiko.co.jp/medicine/>) に掲載致します。